



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R8 年度 CS通信No.1 R8.4.20



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

今年度も、CS 通信を通して、地域学校協働活動の様子や学校支援ボランティアの活躍の様子を紹介していきます。

担当は、社会教育推進ディレクターの藤田昭彦です。どうぞよろしくお願ひいたします。

県内一斉声かけ活動の様子(西海小学校)



「地域の力で子どもを育む県内一斉声かけ活動」が4月7日(火)から始まりました。

西海小学校では、青少年健全育成推進員の北嶋さんが、旗を持って玄関前に立ち、登校してくる子どもたちに声をかけていました。

声をかけられた子どもたちは、元気よくあいさつを返していました。

北嶋さんは、最終のあじバスが到着するまで玄関前に立っていました。

県内一斉声かけ活動は、今年度、1週間ずつ4回行われ、地域の力で子どもたちを育みます。

下校時子ども見守り活動(舞戸小学校)



舞戸小学校では、毎週水曜日、地域の婦人団体や町内会が連携・協力して子ども見守り活動を行っています。

毎週水曜日の午後2時30分頃から、近くの

横断歩道や踏切、上野の五差路付近で、子どもたちが通過を完了する午後3時ころまで見守っています。

この日は、JA そばの踏切に立って子どもたちを見守っていた町内会の方々は、

「大きくなったね。気をつけて帰るのだよ。」と声をかけていました。

地域の方々の協力によって子どもたちの安全を守る貴重な活動となっています。

自転車教室(西海小学校第3学年)(4/16)



自転車教室には、西海小学校担当の地域学校協働活動推進員の工藤律子さんの声掛けで、学校支援ボランティアが7名集まり、児童の活動支援を行いました。

はじめに、鯨ヶ沢警察署の警察官から、自転車の安全な乗り方について指導を受けました。

次に、①スタート、②停止 ③横断歩道 ④S字 ⑤細道の5つのチェックポイントが正しく通行できるように練習しました。

学校支援ボランティアの皆さんは、それぞれのチェックポイントに立って、一人一人の児童が正しくできるように声掛けをしていました。

最後に、鯨ヶ沢警察署の警察官から、自転車教室全体を通して、ルールを守ろうとがんばって練習できたことは大変良かったとお褒めの言葉がありました。

また、道路で乗る時は、危ないと思ったらブレーキをかけて止まるようにお話がありました。

子どもたちは、お世話になった鯨ヶ沢警察署の警察官と学校支援ボランティアの皆さんに大きな声でお礼を言うことができました。